

5/30 金

長男秘書官を 首相更迭意向



岸田翔太郎
秘書官

岸田文雄首相は二十九日、長男で政務担当秘書官の翔太郎氏(三)を更迭する意向を表明した。六月一日付。昨年末の忘年会の際に公邸内で親族と記念撮影をしたとの週刊文春報道を受け、厳重注意したが、野党から批判を浴びていた。首相は「公的立場にある政務秘書官として不適切であり、けじめをつけろ」と官邸で記者団に理由を説明した。身内の不祥事に与党幹部も苦言を呈しており、早期の幕引きで政権の信頼回復を図る。=関連③面

後任には、翔太郎氏の前任で岸田事務所の山本高義氏(四)を充てる。

岸田文雄首相が、報道で政務秘書官を務める翔太郎氏の選送に追いつめられた世論調査で内閣支持率へのサマント効果は限定的。翔太郎氏の不適切な行動が足を引っ張った。首相は、「一度は否定した選送を判断せざるを得なかつた」。

首相長男秘書官を更迭

「首相公認の公的すべー
ス」における行動は政務秘書官として不適切。ひつひつと
つむぎだめ交代させねえよ」と
ました」。(二十九日夜、官邸)。首相は翔太郎氏の秘書官交代を表明し、神妙な顔つきで自身の任命責任も認めめた。

翔太郎氏の不祥事は、十五日週刊文春が報じた。

昨年八月の内閣改選で閣僚が並んで写真撮影した赤いやうだんの服装を使い、昨年十一月に親族約一人で配急遞。親類とみられる人物が陸戦で寝そべる写真もあつた。野党は「公私混同」と批判し、更迭要求も上がつたが、首相は「十五日、更迭を否認した。ただ翔太郎氏は「適切さを欠いていた」と選送在途を受けた。

二十七・二十八日実施の共同通運世論調査では支持率

47.0%で、十四日の前回調査と比べわずか0.4%増にとどまる。同時期の産経新聞、日経新聞では支持率が下落した。

「世論調査の結果は、本当に受け止めた。首相から秘書官に隠しきれなかった可憍性に鑑及した。三十九日夜、自民党の茂木敏充幹事長は記者会見で、翔太郎氏問題が支持率に影響した可憍性に鑑及した。与党議員者は「支持率の動向が秘書官交代判断」につながつたのだといつて反対して

了」を過り国民、公明両党のあいこじやくした関係も響いた。

した。公明支局の川井田文雄閣を主導したの

は52.2%で、四月から10

十九・二十日の公島サ

ミットはG7首脳によく原

れした」。(二十九日夜、官邸)。首相は翔太郎氏の秘書官交代を表明し、神妙な顔つきで自身の任命責任も認めめた。

翔太郎氏の不祥事は、十五日週刊文春が報じた。

昨年八月の内閣改選で閣僚

が並んで写真撮影した赤い

やうだんの服装を使い、昨

年十一月に親族約一人で配

急遞。親類とみられる人

物が陸戦で寝そべる写真も

あつた。野党は「公私混同」と批判し、更迭要求も

上がつたが、首相は「十五

日、更迭を否認した。ただ

翔太郎氏は「適切さを欠いていた」と選送在途を受けた。

二十七・二十八日実施の共同通運世論調査では支持率



野党「当然」／与党冷ややか

二十七・二十八日実施の

「世論調査の結果は、本当に受け止めた。首相から秘書官に隠しきれなかった可憍性に鑑及した。三十九日夜、自民党の茂木敏充幹事長は記者会見で、翔太郎氏問題が支持率に影響した可憍性に鑑及した。与党議員者は「支持率の動向が秘書官交代判断」につながつたのだといつて反対して

「登用がそもそも問題」 識者、首相の責任問う声

は「支持率回復の伸びが秘書官問題で止まってしまった」と述べた。

衆院小選舉区「十增十減」を過る国政、公明両党のあいこじやくした関係も響いた。

▼解散自體

報道各社世論調査

	内閣支持率	不支持率
共同通信 5月 27.28日	47.0% (0.4▲)	35.9% (0.4▲)
朝日新聞 27.28日	48 (8▲)	42 (3▲)
産経新聞 27.28日	50.4 (0.3▲)	44.5 (0.2▲)
日経新聞 26~28日	47 (5▲)	44 (4▲)
読売新聞 20.21日	56 (9▲)	33 (4▲)
毎日新聞 20.21日	45 (9▲)	46 (10▲)
NHK 12~14日	46 (4▲)	31 (4▲)

※()内は前回調査ポイント数

野党では二十九日、岸田文雄首相が、風聞の翔太郎秘書官の更迭を発表したところについて「当然だ」「選出場をわざわざして行動するべきだ」といふ意味で「立場をわざわざして行動するべきだ」と語った。国民民主党の玉木雄一郎代表も「セリフツイーの視点から問題がある」と断じた。

立憲民主党の遠藤誠二代表は「共産党的な小池百合子議員は「選相が今月二十五日、週刊誌報道で判明。一部野党は選送を求めていた。翔太郎氏を立候補する見方には「政治家としての能力がない人間を登用したのではないか」と述べ、首相の任命責任を問う考え方を示した。衆院大代表は「辞職は当然だ」と記者団の取材に答えた。

野党では二十九日、岸田文雄首相が、風聞の翔太郎秘書官の更迭を発表したところについて「当然だ」「選出場をわざわざして行動するべきだ」といふ意味で「立場をわざわざして行動するべきだ」と語った。国民民主党の玉木雄一郎代表も「セリフツイーの視点から問題がある」と断じた。

立憲民主党の遠藤誠二代表は「共産党的な小池百合子議員は「選相が今月二十五日、週刊誌報道で判明。一部野党は選送を求めていた。翔太郎氏を立候補する見方には「政治家としての能力がない人間を登用したのではないか」と述べ、首相の任命責任を問う考え方を示した。衆院大代表は「辞職は当然だ」と記者団の取材に答えた。

野党では二十九日、岸田文雄首相が、風聞の翔太郎秘書官の更迭を発表したところについて「当然だ」「選出場をわざわざして行動するべきだ」といふ意味で「立場をわざわざして行動するべきだ」と語った。国民民主党の玉木雄一郎代表も「セリフツイーの視点から問題がある」と断じた。

立憲民主党の遠藤誠二代表は「共産党的な小池百合子議員は「選相が今月二十五日、週刊誌報道で判明。一部野党は選送を求めていた。翔太郎氏を立候補する見方には「政治家としての能力がない人間を登用したのではないか」と述べ、首相の任命責任を問う考え方を示した。衆院大代表は「辞職は当然だ」と記者団の取材に答えた。

野党では二十九日、岸田文雄首相が、風聞の翔太郎秘書官の更迭を発表したところについて「当然だ」「選出場をわざわざして行動するべきだ」といふ意味で「立場をわざわざして行動するべきだ」と語った。国民民主党の玉木雄一郎代表も「セリフツイーの視点から問題がある」と断じた。

立憲民主党の遠藤誠二代表は「共産党的な小池百合子議員は「選相が今月二十五日、週刊誌報道で判明。一部野党は選送を求めていた。翔太郎氏を立候補する見方には「政治家としての能力がない人間を登用したのではないか」と述べ、首相の任命責任を問う考え方を示した。衆院大代表は「辞職は当然だ」と記者団の取材に答えた。